

2018年6月28日

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた 成田空港の取り組み

成田空港は、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会時において、日本の表玄関として多くの選手・関係者・観客の皆様を安全、円滑に受け入れ、送り出すことが求められております。加えて、同大会を成田空港の更なる飛躍、発展のチャンスと捉え、将来を見据えた機能強化や更なる利便性・快適性向上に繋げるため、今般、当社としての基本方針及び具体的な取り組みをとりまとめました。

この基本方針に基づき、今後も引き続き、国や組織委員会、空港内事業者等、関係機関と連携しながら、東京オリンピック・パラリンピック競技大会を万全の態勢で迎えるため、これら取り組みを着実に進めてまいります。

1. 基本方針

- ◆ 全てのお客様に安心して空港をご利用いただけるよう、関係機関と連携し、**安全・安定運用を徹底**します。
- ◆ 日本の表玄関として、大会期間中における**選手・関係者の安全確保やスムーズな移動の実現**に向けて、受入体制の整備を推進します。
- ◆ 全てのお客様がご利用しやすい空港を目指して、**ユニバーサルデザインの更なる充実**を図ります。
- ◆ 世界各国から日本を訪れるお客様を**おもてなしの心でお迎え**します。

2. 具体的な取り組み

◆ 安全・安定運用の徹底

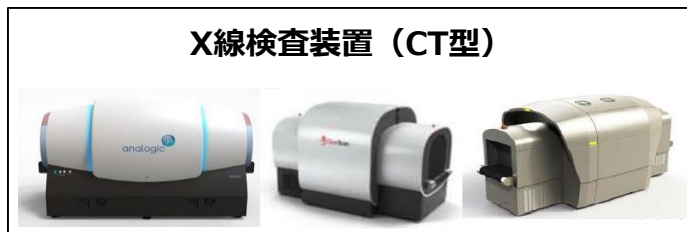
保安検査体制の強化

- ✓ ボディスキャナー（AIT）の設置
【2018年3月までに22台導入済】
- ✓ 爆発物の自動検知機能を有し、3D映像により全方向からモニタ確認が可能な**CT（Computed Tomography；コンピュータ断層撮影）型のX線検査装置を導入**
【2019年度末までに7台導入】

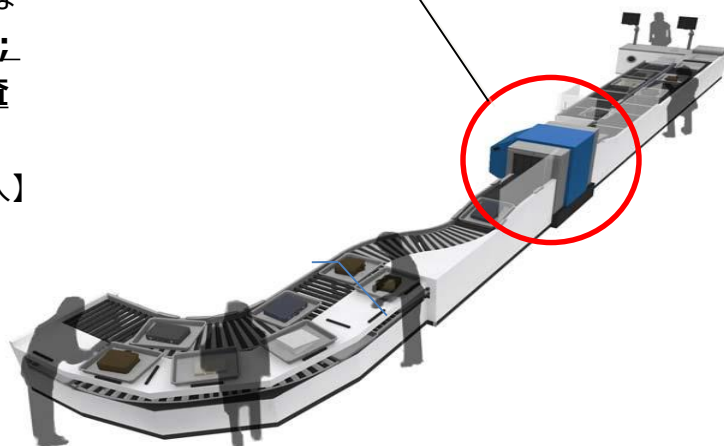
その他の取り組み

- ✓ 警備体制の強化
- ✓ スマートセキュリティレーンの導入
- ✓ サイバーセキュリティの強化

X線検査装置（CT型）



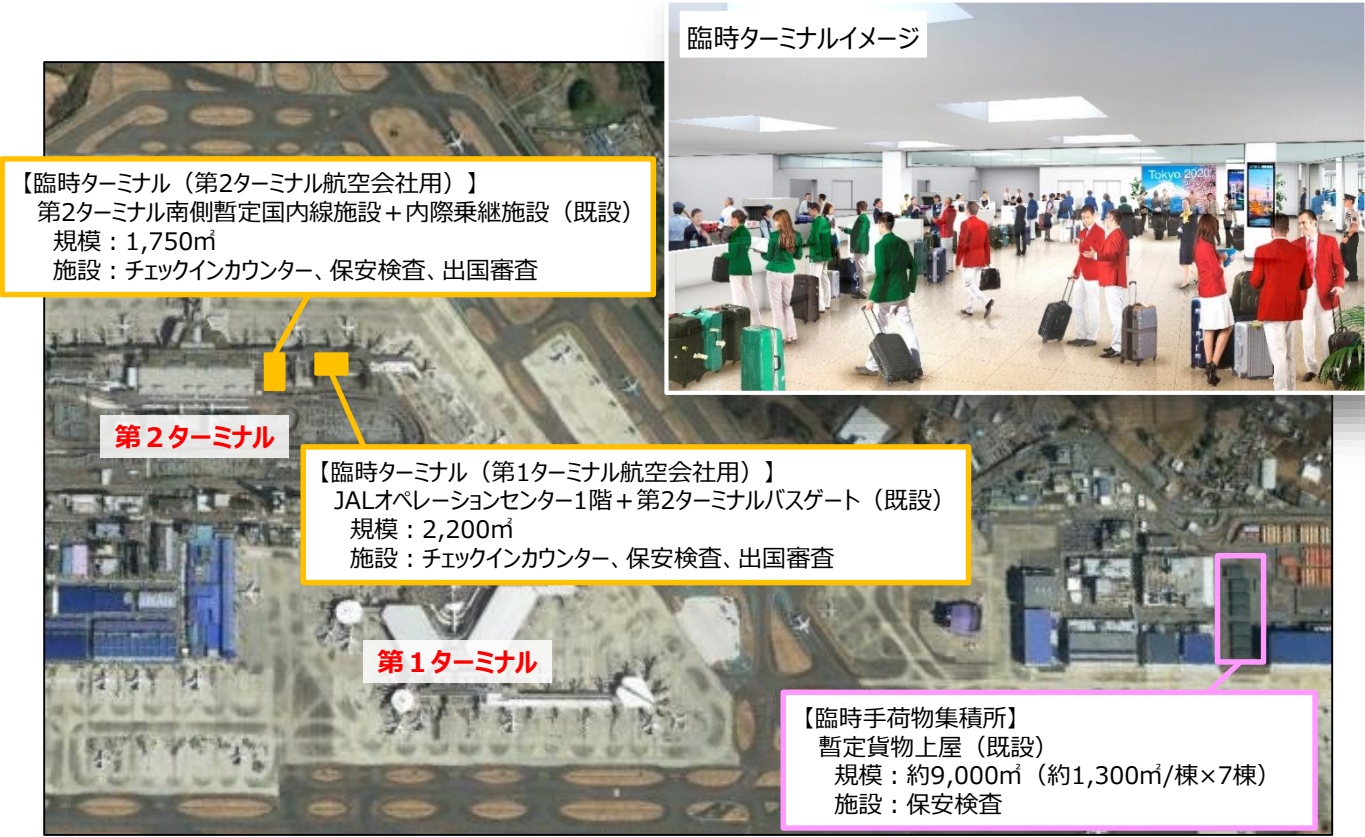
※当社実証実験資料より



◆選手・関係者の安全確保やスムーズな移動の実現

臨時ターミナルの整備／選手村における空港外チェックインへの対応

- ✓ 閉会式翌日に一斉に帰国する選手・関係者の安全確保や、既存ターミナルの混雑緩和等を図るため、既存施設の改修により、**各国選手団用の臨時専用ターミナルを整備** 【2019年度末までに整備】
- ✓ 選手村における空港外チェックインで事前に預かった手荷物の保安検査・仕分け・一時保管を行う **臨時手荷物集積所を整備地区（暫定貨物上屋）に整備** 【2019年度末までに整備】



案内誘導体制の構築

- ✓ 関係機関と連携しつつ、**ボランティア等を活用した空港内における案内・誘導体制を構築** 【2018年度末までに体制決定】

<ボランティア概要>

	活動内容	募集人数※1
大会ボランティア（組織委員会）	選手・大会関係者の出入国時の案内	8万人
都市ボランティア（千葉県※2）	観客及び観光客への競技概要・交通・観光等の案内・誘導	3,000人

※1 空港内のボランティア配置人数や、既存ボランティアとの連携については、関係機関と協議中
※2 成田空港内に配置される都市ボランティアは、千葉県が実施主体

その他の取り組み

- ✓ 選手・関係者の動線の設定、手荷物の取り扱い、バス等の車両待機スペースの設定
- ✓ 道路の混雑緩和、ビジネスジェットへの対応

◆ユニバーサルデザインの更なる充実

エレベーターの増設・機能増強

- ✓「Tokyo2020アクセシビリティ・ガイドライン」への適合を図るため、ターミナル内主要動線におけるエレベーターの増設・機能増強を実施

【2018年度末までに4カ所整備】

- ✓ お客様ご自身の車いすで移動できる範囲が可能な限り広がるよう、搭乗ゲート付近に車いす等運搬用エレベーターを設置

【オリパラ以降も含めて25カ所※整備】

※オリパラまでの整備箇所数は設計にて精査中

＜車いす等運搬用エレベーターのイメージ＞

56番スポット（設置済）



その他の取り組み

- ✓ お客様用トイレ全面リニューアル

- ・ターミナル内お客様用トイレの全面リニューアルに合わせて、音声案内・フラッシュライト・L型手すりの設置、多機能トイレの機能分散、異性介助等へのニーズへの対応など、お客様用トイレのユニバーサルデザイン化を推進

【第2ターミナル：2018年9月末まで、第1,第3ターミナル：2019年度末までに整備※】

※完成次第、順次供用



- ✓ ターミナルのバリューアップ計画

- ・第1・第2ターミナルの大規模リニューアル（ターミナルのバリューアップ計画）に合わせて、大型の案内サインの導入など、すべてのお客様にわかりやすいように改修を行うとともに、照明器具のLED化により、空間全体での明るさ感確保や視認性向上を実施

【2019年度末までに整備】

- ✓ その他、成田空港ユニバーサルデザイン基本計画に基づく取り組みの着実な実施

- ・案内カウンターの改修や、障害に対する理解を深め、適切な接遇を行うためのボランティアを含めた研修の実施など、成田空港ユニバーサルデザイン基本計画に基づく取り組みを実施

【ハード面の取り組み：2019年度末までに実施、ソフト面の取り組み：順次実施】

◆おもてなしの心でお迎え

空間演出

- ✓ ターミナルビルの到着コンコースにおいて、訪日外国人をはじめとしたお客様に対して、プロジェクター、液晶ディスプレイ等を活用し、**“訪日歓迎ムード”や“日本らしさ”を表現する空間演出**を実施
【2018年度末までに第1ターミナル4カ所、第2ターミナル5カ所に整備】

<イメージ>



その他の取り組み

- ✓ 機運醸成イベント、館内装飾の実施
 - ・ 7月24日（火）に、千葉県主催による「オリンピック2年前イベント」を成田空港内ハンガー等にて開催
- ✓ 「beyond2020プログラム」の認証を通じた日本文化の魅力発信

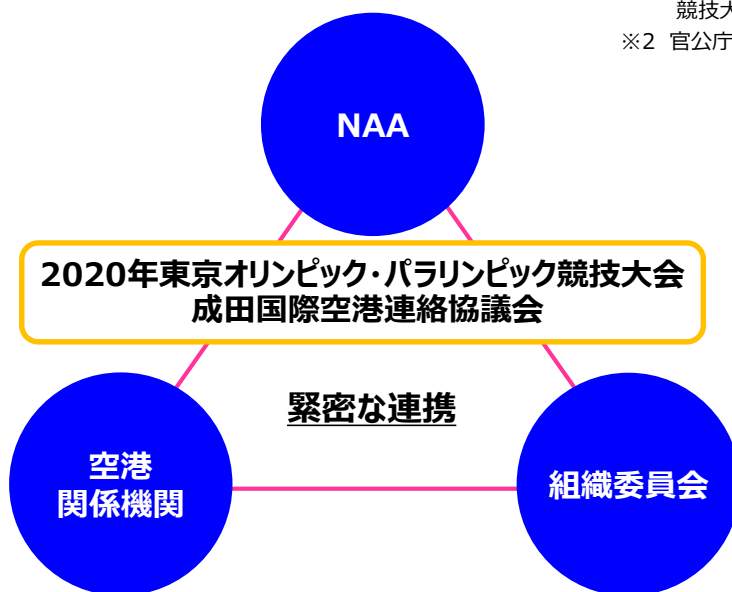


3. オリパラに向けた空港内関係機関等との連携

- ✓ 組織委員会※1や空港関係機関※2と緊密に連携し、大会時におけるスムーズな空港運営を実現。

※1 公益財団法人 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

※2 官公庁、航空会社、交通事業者など



【添付資料】

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた成田空港の具体的な取り組み

2018年 6月
成田国際空港(株)



1. 安全・安定運用の徹底 保安検査体制の強化

内 容

- 非金属も検知可能なボディスキャナー（AIT）を設置済。

【箇所数】

出発：10台（2017年3月）

乗継：12台（2018年3月）



- 爆発物の自動検知機能を有し、3D映像により全方向からモニタ確認が可能なCT（Computed Tomography; コンピュータ断層撮影）型のX線検査装置を導入予定。

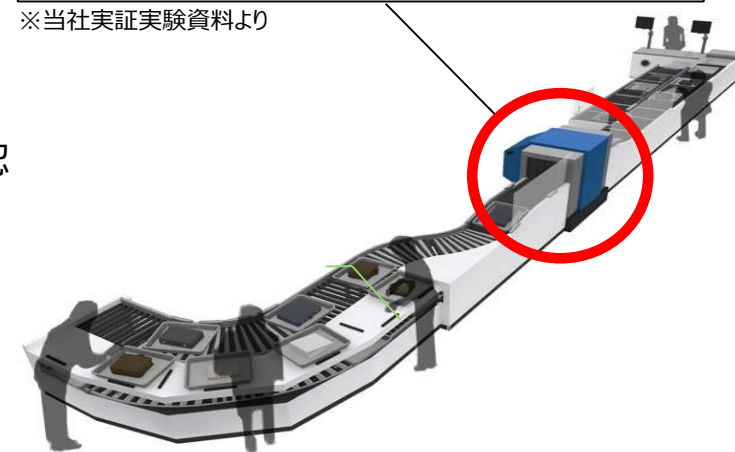
【箇所数】 第1ターミナル：北ウイング 1台・南ウイング 2台

第2ターミナル：3台、第3ターミナル：1台

X線検査装置（CT型）※



※当社実証実験資料より



スケジュール（予定）

	2018年度	2019年度	2020年度
AITの設置	（設置済）		
CT機の導入		製造 → 設置	東京大会
※2019年9月末～2020年3月に順次運用開始			

1. 安全・安定運用の徹底 その他の取り組み

【警備体制の強化】

- 関係機関と連携し、CBRNE※テロ等に対する体制構築や、混雑時における選手・関係者動線の確保など、大会に向けて警備体制を強化。（CBRNEマニュアルを作成し、オリパラまで訓練を継続して実施）

※化学（Chemical）・生物（Biological）・放射性物質（Radiological）・核（Nuclear）・爆発物（Explosive）



【スマートセキュリティレーンの導入】

- 第1・第2ターミナルの保安検査場を拡張するとともに、最新の保安検査設備であるスマートセキュリティレーンを導入し、検査効率を向上することで、お客様の待ち時間やストレスの軽減、取扱処理能力の向上（処理能力1.5倍増）による混雑緩和を実現。（2019年9月末～2020年3月に順次運用開始）

【サイバーセキュリティの強化】

- 日々増加するサイバー脅威から空港事業を守るため、重要インフラとしての各種取り組みを推進するなど、サイバーセキュリティ対策を強化するとともに、サイバーセキュリティに関する訓練・教育を継続して実施。（オリパラまで継続して実施）

2. 選手・関係者の安全確保やスムーズな移動の実現 臨時ターミナルの整備①

内 容

- 閉会式翌日に一斉に帰国する選手・関係者の安全確保や、既存ターミナルの混雑緩和等を図るため、既存施設の改修により、各国選手団用の臨時専用ターミナルを整備。 ※オリンピック閉会式翌日から3日間（8/10～12）のみの運用

<位置図>

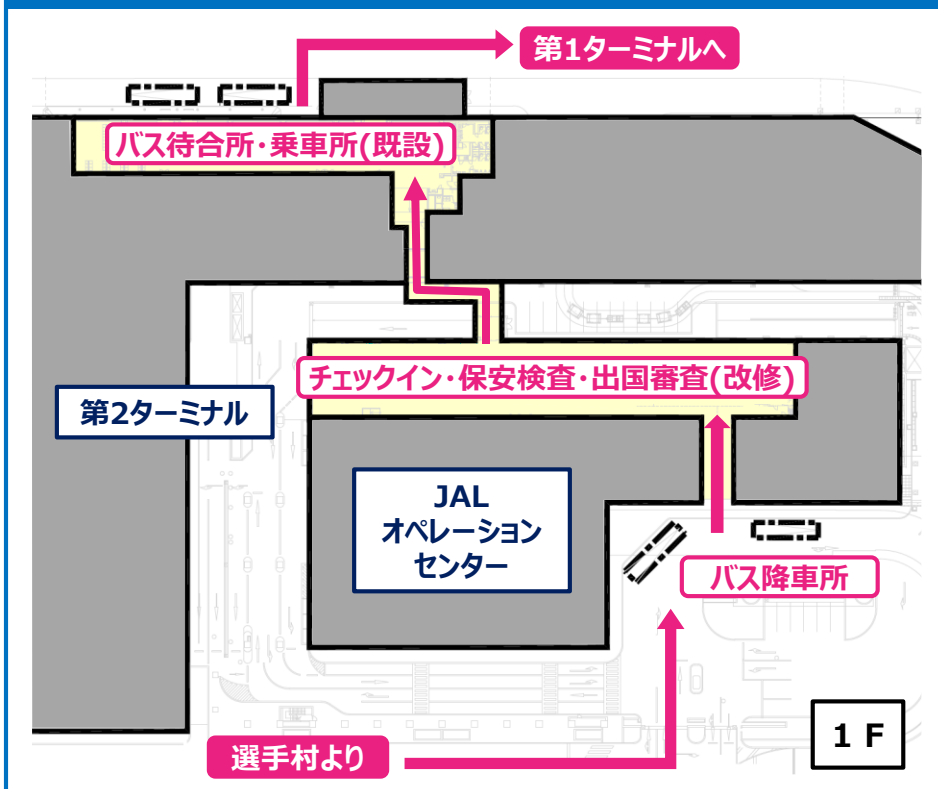


2. 選手・関係者の安全確保やスムーズな移動の実現

臨時ターミナルの整備②

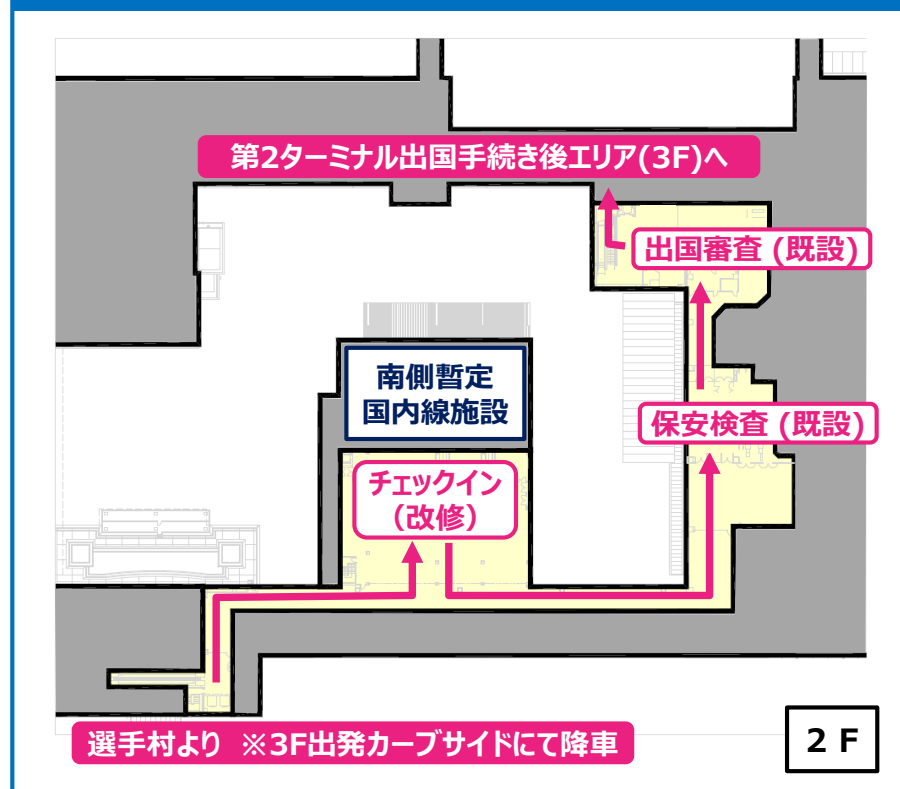
【第1ターミナル航空会社用】

JALオペレーションセンター1階 + 第2ターミナルバスゲート（既設）

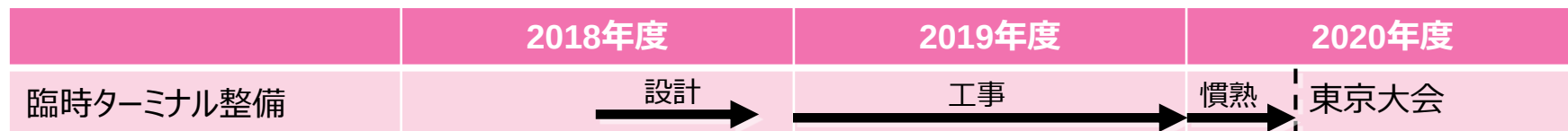


【第2ターミナル航空会社用】

第2ターミナル南側暫定国内線施設 + 内際乗継施設（既設）



スケジュール（予定）



2. 選手・関係者の安全確保やスムーズな移動の実現 選手村における空港外チェックインへの対応

内 容

- 閉会式翌日に一斉に帰国する選手・関係者の大量の手荷物に対応するため、選手村における空港外チェックインで事前に預かった手荷物の保安検査・仕分け・一時保管を行う臨時手荷物集積所を整備地区（暫定貨物上屋）に整備。

<位置図>

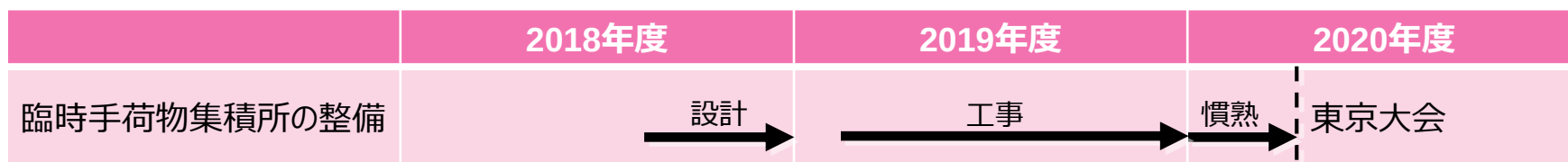


【臨時手荷物集積所（暫定貨物上屋）】
規模：約9,000㎡（約1,300㎡/棟×7棟）
施設：保安検査

暫定貨物上屋外観



スケジュール（予定）



2. 選手・関係者の安全確保やスムーズな移動の実現 案内・誘導體制の構築

内 容

- 関係機関と連携しつつ、ボランティア等を活用した空港内における案内・誘導體制を構築。

【ボランティア概要】

	活動内容	募集人数※1
大会ボランティア (組織委員会)	選手・大会関係者の出入国時の案内	8万人
都市ボランティア (千葉県※2)	観客及び観光客への競技概要・交通・観光等の案内・誘導	3,000人

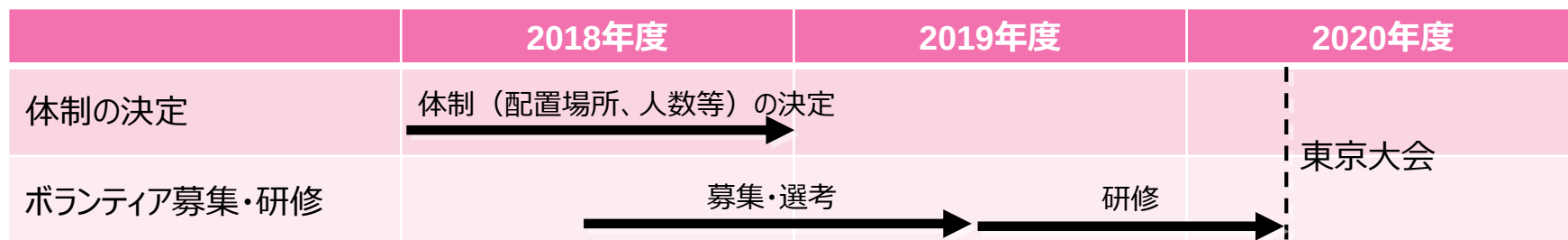
※1 空港内のボランティア配置人数や、既存ボランティアとの連携については、関係機関と協議中

※2 成田空港内の都市ボランティアは、千葉県が実施主体

【参考】2016リオ大会時の様子



スケジュール（予定）



2. 選手・関係者の安全確保やスムーズな移動の実現 その他の取り組み①

【選手・関係者の動線の設定】

- 出入国時における選手・関係者の移動がスムーズに行われるように、ターミナル内における専用/優先レーンやカーブサイドにおける車両乗降スペースを設定。（2018年度末までに決定）※関係機関と協議中

【2016リオ大会時の様子】

【選手・関係者の手荷物の取り扱い】

- 入国時における選手・関係者の大量の手荷物に対応するため、第1ターミナル南ウイング、第2ターミナルに到着バゲージクレームを増設。（2019年度末までに整備）
- 選手・関係者は手荷物が多く、競技用品のチェック等により滞留することが想定されるため、手荷物受取場内に専用の荷物ピックアップスペースを設定。（2018年度末までに決定）※関係機関と協議中



（選手団入国時の手荷物受取場の様子）

【バス等の車両待機スペースの設定】

- 出入国時における選手・関係者のバス移動を効率的に行うために、ターミナル地区又は整備地区の空きスペースに、選手・関係者用バスや荷物運搬用トラックの待機スペースを設定。（2018年度末までに決定）※関係機関と協議中



（選手団帰国時のカーブサイドの様子）

【道路の混雑緩和】

- 空港内道路の混雑緩和及び今後の需要増加に対応するため、P1駐車場周辺道路の改良を実施するとともに、第1ターミナル地区（P1駐車場）と第2ターミナル地区（P2駐車場）に立体駐車場を整備。

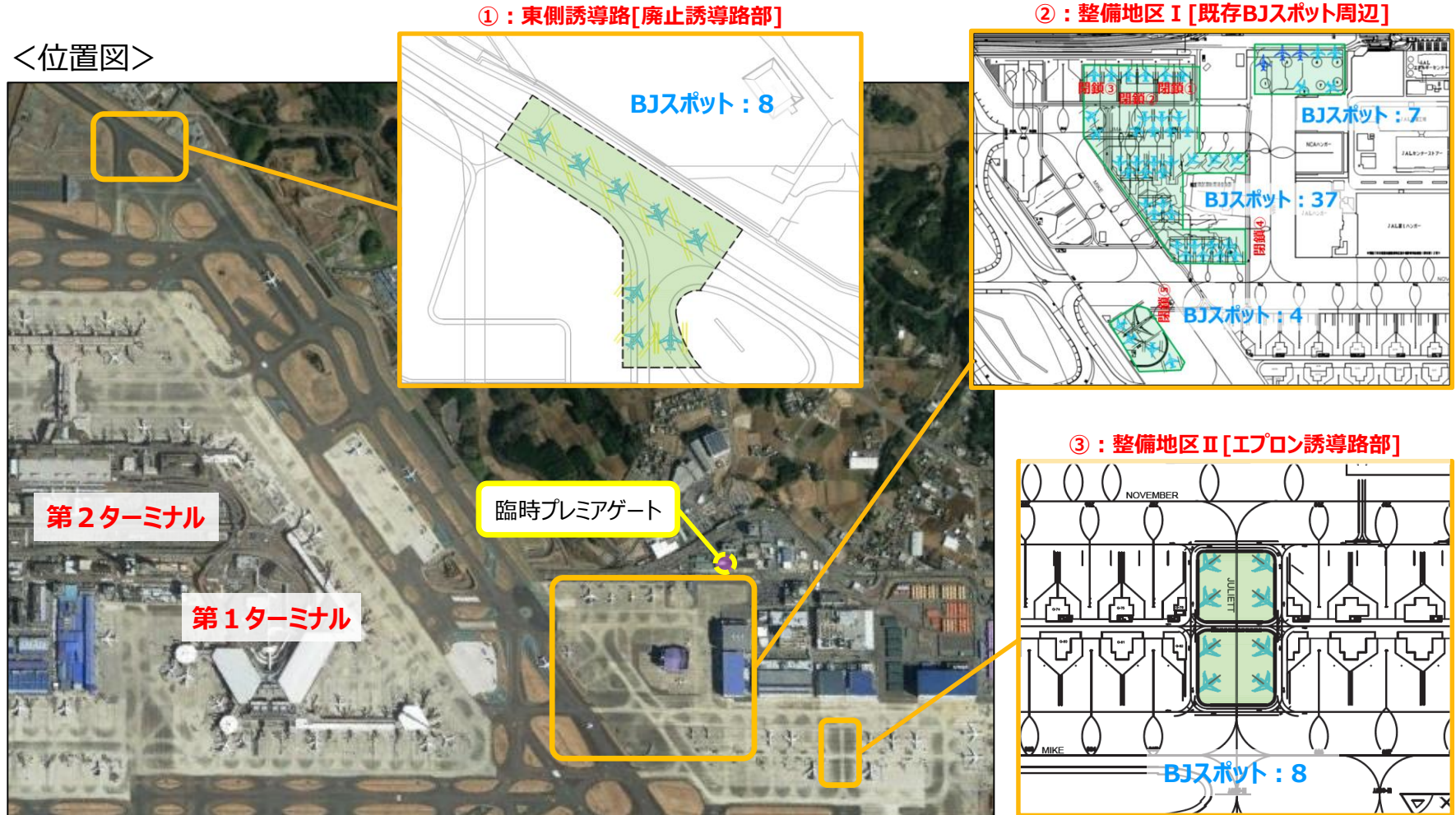
（道路改良：2017年7月実施済み、P1：2018年7月中旬供用、P2：2019年夏頃供用）

2. 選手・関係者の安全確保やスムーズな移動の実現 その他の取り組み②

【ビジネスジェットへの対応】

- 大会期間中に増加が見込まれるビジネスジェット（BJ）の受け入れのため、臨時BJ用スポット（64機分）を確保するとともに、その大半が位置する整備地区に臨時のプレミアゲートを設置。（オリパラまでに実施）※関係機関と協議中

<位置図>



3. ユニバーサルデザインの更なる充実 エレベーターの増設・機能増強

内 容

- 「Tokyo2020アクセシビリティ・ガイドライン」（推奨基準：24人乗り、標準基準：17人乗り）への適合を図るため、ターミナル内主要動線におけるエレベーターの増設（2カ所）・機能増強（2カ所）を実施。
- お客様ご自身の車いすで移動できる範囲が可能な限り広がるよう、搭乗ゲート付近に車いす等運搬用エレベーター（25カ所※）を設置。

※箇所数は2020年以降実施分も含む。オリパラまでの整備箇所数は精査中。

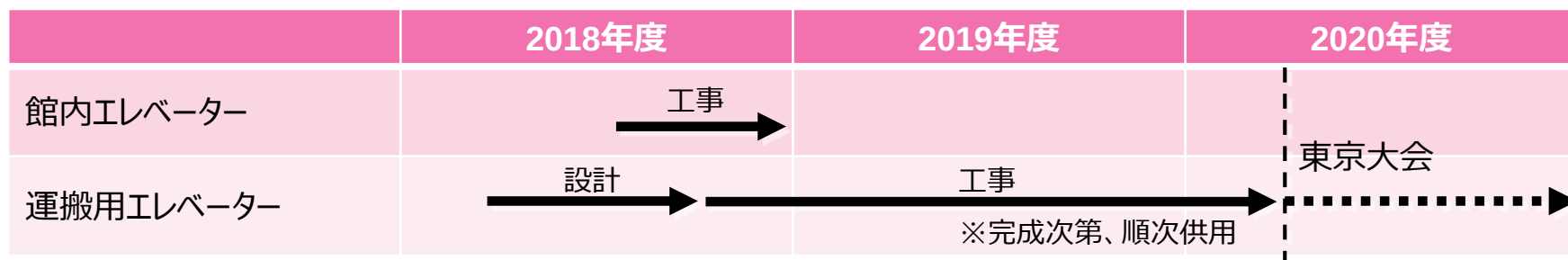
【館内エレベーターの改修内容】

	場所	改修前	改修後
第1 ターミナル	保安検査場 （南ウイング）	15人乗り 2台	15人乗り 1台、17人乗り 1台（カゴ交換）
	保安検査場 （北ウイング）	15人乗り 2台	15人乗り 1台、20人乗り 1台（カゴ交換）
第2 ターミナル	サテライト （到着）	11人乗り 2台	11人乗り 2台、17人乗り 1台（増設）
	ナリタ五番街 吹き抜け部	30人乗り 1台	30人乗り 1台、24人乗り 1台（増設）

【車いす等運搬用エレベーターイメージ】



スケジュール（予定）



3. ユニバーサルデザインの更なる充実 その他の取り組み

【お客様用トイレ全面リニューアル】

- ターミナル内お客様用トイレの全面リニューアルに合わせて、音声案内・フラッシュライト・L型手すりの設置、多機能トイレの機能分散、異性介助等へのニーズへの対応など、お客様用トイレのユニバーサルデザイン化を推進。
(第2ターミナル：2018年9月末までに整備、第1,第3ターミナル：2019年度末までに整備 ※完成次第、順次供用)

【ターミナルのバリューアップ計画】

- 第1,第2ターミナルの大規模リニューアル（ターミナルのバリューアップ計画）に合わせ、大型の案内サインの導入など、すべてのお客様にわかりやすいように改修を行うとともに、照明器具のLED化により、空間全体での明るさ感確保や視認性向上を実施。（2019年度末までに整備）

【その他、成田空港ユニバーサルデザイン基本計画に基づく取り組みの着実な実施】

- 案内カウンターの改修や、障害に対する理解を深め、適切な接遇を行うためのボランティアを含めた研修の実施など、成田空港ユニバーサルデザイン基本計画に基づく取り組みを実施。
(ハード面の取り組み：2019年度末までに実施、ソフト面の取り組み：順次実施)

4. おもてなしの心でお迎え 空間演出

内 容

- ターミナルビルの到着コンコースにおいて、訪日外国人をはじめとしたお客様に対して、プロジェクター、液晶ディスプレイ等を活用し、“訪日歓迎ムード”や“日本らしさ”を表現する空間演出を実施。

第1ターミナル：4ヵ所（第1～3、5サテライト4階 到着コンコース）整備距離 計150m、壁面積 計300㎡

第2ターミナル：5ヵ所（本館2階 到着コンコース）整備距離 計100m、壁面積 計200㎡



スケジュール（予定）

	2018年度	2019年度	2020年度
空間演出	工事 →		東京大会

4. おもてなしの心でお迎え その他の取り組み

【機運醸成イベント、館内装飾の実施】

- 2017年に開催したオリンピック1000日前イベントに続いて、本年**7月24日（火）に、千葉県主催によるオリンピック2年前イベントが成田空港内ハンガー等にて開催。**
- 今後も、空港をご利用のお客様にオリパラの雰囲気を感じていただくため、**機運醸成イベントや館内装飾を継続して実施。**

＜日 時＞ 2018年7月24日(火) 10:00～12:00

＜実施場所＞ JAL Aハンガー

＜内 容＞ セレモニー、空港見学

※上記のほか、7月24日（火）から7月29日（日）まで、第1ターミナルにてオリパラの県内開催競技をテーマとした「リアル宝探し」イベントを開催。

【1000日前イベント（千葉県主催）の様子】
（昨年10月28日開催）



【「beyond2020プログラム※」の認証を通じた日本文化の魅力発信】

- 本年3月22日、当社の日本文化発信の取り組みが、政府の「beyond2020プログラム」に、国内の空港として初めて認証。
- 日本の表玄関として、「**beyond2020プログラム**」の認証を通じて、**これまで以上に多くのお客様に日本文化の魅力を発信。**

※2020年以降を見据え、日本の強みである地域性豊かで多様性に富んだ文化を活かし、成熟社会にふさわしい次世代に誇れるレガシーの創出に資する文化プログラムを国等が「beyond2020プログラム」として認証し、ロゴマークを付与することで、オールジャパンで統一感を持って日本全国へ展開するもの。



【参考】オリパラに向けた空港内関係機関等との連携

- ✓ 組織委員会※¹や空港関係機関※²とからなる「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会 成田空港連絡協議会」を通じて、関係者と緊密に連携し、大会時におけるスムーズな空港運営を実現します。

※¹ 公益財団法人 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

※² 官公庁、航空会社、交通事業者など

